



2022年1月15日

第679号

1部10円(組合員は組合費に含む)
郵便振替0960-7-111274

Tel (06)4793-0633 Fax (06)4793-0644 E-mail: info@ewaosaka.org http://www.ewaosaka.org

発行 大阪教育合同労働組合
Education Workers and Amalgamated Union Osaka (EWA)
发行人 増田俊道
連絡先 大阪市中央区北浜東1-17 8F

新年の挨拶

さらなる団結と連帯を!

今年も、1月1日午前中、大阪府警本部前で開催された、「労働組合つぶしの大弾圧を許さない元旦行動」に参加しました。写真はその時のものです。2018年夏に始まった関西生コン支部に対する大弾圧への反撃の闘いを、400名の支援する労働組合や市民団体の連帯で示しました。

2021年を振り返って

昨年はコロナ禍が2年目になる中で、特に非正規雇用組合員に対する攻撃が強まつたと言えます。大阪府の講師雇用継続団交拒否に関して、組合は7月に府労委に救済申し立てし、11月から府労委の調査が始まりました。3月には京都西山短大支部組合員2名の雇止め解雇撤回のストライキ闘争を展開し、その後の団交拒否も含めて府労委闘争に至りました。ストライキ闘争の際には、おおさかユニオンネット

トワークの21春闘に位置づけていただき、友誼組合も含めて60名の参加で貫徹することができました。

一方で、教科書検定・教科書採択などを通じて、政府の教育内容介入と右派の攻撃も深刻になってきました。戦時下の強制連行や日本軍「慰安婦」などの歴史的事実の書き換え、尖閣諸島や竹島を日本の「固有の領土」と記述させるなどです。組合は、「子どもに渡すな 危ない教科書大阪連絡会」と連帯したり、7月にエルおおさかで開催された「表現の不自由展かんさい」の運営を支援したりしながら、教育を利用した戦争協力との闘いを、市民団体とともにすすめました。

2022年はさらなる団結を

大阪府の講師雇用継続団交拒否事件については、会計年



度任用職員制度の導入で団交は必要ないという大阪府の欺瞞に惑わされることなく、今後も団交を要求し続けるとともに府労委闘争をすすめます。4年前の岸和田支援学校非常勤看護師3名の雇止め撤回・パワハラ裁判の控訴審も、いよいよ高裁判決が1月28日(金)13:15~大阪高裁83号法廷であります。組合員・支援者の結集を求めます。また、このニュースが発行される前の、1月11日には京都西山短大の府労委審問の1回目が終わっていると思いますが、2月1日(火)10:00~2回目、2月16日(水)15:00~3回目

の審問(証人尋問)があります。この府労委にも傍聴支援を求めます。

公立高校については、GIGAスクール構想の前倒しや、2022年度からの新カリキュラムにおける「観点別評価」導入などを利用した、管理強化と労働強化も予想されます。さらに新科目「公共」「歴史総合」に関して教育内容の右傾化も阻止していくなければなりません。コロナ禍の中で半年途絶えていた「領土教育研究集会」も、3月26日(土)13:00~エルおおさか709室で開催されます。

組合員の皆さん、それぞれの職場で労働条件の改善に粘り強く取り組まれるとともに、様々な学びの場や闘いの場で出会えることを期待しています。友誼組合や市民団体との連帯もさらにすすめていきましょう。

増田俊道(執行委員長)

政府見解を刷り込む教科書NO!

12月18日「戦争教科書」はいらない!大阪連絡協議会主催で全国集会がオンラインも併用してエルおおさかで開かれました。上杉代表の挨拶の後、第1部として「高校教科書書き換え問題の本質」と題して、高嶋伸欣琉球大名誉教授の講演がありました。政

文科省による書きかえ強制を許さない 全国集会2021



府が「従軍慰安婦」、「強制連行」という用語が教科書に不適切として訂正を各社に求めた問題について「政府見解条項」の誤認解釈によってその後条項に逆らう措置も認めざるを得なくなった文科省の

の審判の声をあげ、文科省無用論から市民民主主義を目指そうと講演を締めくくられました。次に日本軍「慰安婦」呼称問題の現在と題して、おかだだいさんから軍の関与を認めた河野談話を否定したい菅政権が「従軍」を消して単に「慰安婦」としようとした意図について、また実態を最も的確に表した表現として日本軍性奴隸を用いるべきとの話がありました。

第2部では中学校歴史教科書採択やり直し問題と自由社教科書と題して子どもたちに渡すな!危ない教科書大阪の会の相可さんからこの間の自由社歴史教科書不合格から復活までの一連の経過と自由社歴史教科書の問題点の指摘がありました。その後各地の市民運動団体からの報告、韓国からのメッセージ動画があり、最後にフジ住宅ヘイトハラスメント裁判の原告のメッセージ動画と弁護団からの連帯の発言があつて集会を終えました。山口昌孝(執行委員)

西山短大事件 府労委証人尋問開始

1月11日、組合員2名の復職を求める第1回・府労委証人審問（全3回）が行われました。第1回審問は前・短大学科長ならびに不当雇止め当事者でもある組合員1名、計2名に対し行われ、法人側は弁護士2名を起用し反対尋問に当たらせました。この弁護士2名は前・学科長に対し、意図的に「タメぐち」を使って挑発し、若い組合員に対しては証人席まで足を運び、組合員の顎先まで身を乗り出して威嚇するなどしたため、審問会場は異様な雰囲気に包まれました。しかしこれらが現・

使用者側弁護士の挑発にも動じず組合員が堂々と証言

短大執行部選出手続上の瑕疵や、明らかな不当労働行為、従前の団交結果を一顧だにしない法人側の異様とも呼べる姿勢を、却って際立たせる結果となりました。前・学科長の証言は、現・短大執行部が、櫻井随峰理事長のクーデター、即ち非常手段により誕生したものであることを裏付け、また組合員は、非母語話者でありながら見事な日本語によって、弁護士の威嚇を一蹴し、その弁舌は傍聴席をもうならせるほどでした。

次回審問は支部代表および現・短大学長

第2回・府労委証人審問は、来る2月1日（火）10時～行われます。皆様の傍聴ご支援を重ねてお願い申し上げます。第2回審問は、組合支部代表および現・短大学長に対し実施されます。第1回審問の結果、法人側が論理矛盾お構いなしの因縁難癖で攻撃していく姿勢が見えてきました。支部はこれに怯むことなく、短大による不誠実団交の実態を明らかにし、組合員2名の復

職を目指し、全力で臨む所存です。

安川俊介（西山短大支部代表）

当面の日程

- 1月28日（金）13時15分～ 大阪高裁83
岸和田支援パワハラ控訴審判決
- 1月21日（金）18:30～ エルおおさか 本館6階大会議室
カジノ・万博を考える討論集会
- 2月11日（金・祝）13:30～ 天王寺区民センター
競争・強制でなく命と
人権を守る教育を！2.11集会
講演：桜井智恵子さん
特別報告：黒田伊彦さん

文化おちこち (241) ウイルスよもやま話

(10) オミクロン株の脅威

今月もオミクロン株（O株）について書くことになる。国内の感染者数は年末から増加して年初からの1週間で8,483人と急激に増加したが、その大半はO株による。これは欧米諸国の状況と近似しており、日本でも爆発的に増加してデルタ株による感染者数を超えることが懸念される。感染状況はその国のブースター（3回目）接種を含めたワクチン摂取率及び同接種時期といった背景によって異なるが、これらを平準化すると以下のようなO株の特徴がわかる。

①感染力はデルタ株の3～5倍。
②入院率はデルタ株の3分の1、重症化率もデルタ株よりかなり低い。
③ワクチンのブースター接種は中和抗体価を上昇させ感染防御効果を高める。

今後起こりうること及びその対策は以下のようになる。

①感染力が強くなったO株でも、マスク着用、三密回避という基本的な感染防止策は変わらない。②は行動制限をしない理由にはならない。O株による致死率は低くと

も感染者の増大だけで(2)に述べる事態が懸念される。

(2)入院率が3分1でも感染者が3倍であれば入院者の数は同じである。感染者の急速な増大は医療逼迫だけでなくエッセンシャル・ワーカーの就業不能による交通機関等の社会インフラの機能不全を起こす。大阪府は医療逼迫を理由に入院基準の「厳格化」を表明したが、大阪の第4波で現出した「自宅療養者」の相次ぐ死亡という悪夢を想起させ、為政者の度重なる無為無策に怒りを覚える。

(3)現在、O株による爆発的な感染拡大を抑止する最も効果的な対策はブースター接種だが、現在の感染拡大状況では、数日単位の接種の遅れが感染拡大防止効果を著しく減衰させる。

RNAウイルスである新型コロナウイルスはゲノム複製時に生じるミス・コピーを校正する機能がなく、変異株出現の頻度が著しく高い。医療逼迫や社会インフラの機能不全に至るような状況がなくとも、O株による感染者が多いほど次の変異株の出現する確率が増大するが、その変異株は強い感染力と高い致死率を併せ持つ「スーパー・オミクロン株」になるかもしれない。With coronaに至る道筋は、未だ遙かである。（新撰組21）

2022旗開き コロナ禍でこそ団結を



など引き続きの連帯が訴えられました。

支部代表者会議と兼ねて行われた組合の旗開きは、執行部以外はオンラインでの参加となりました。今年度の臨時職員・講師雇用闘争の方針が決定し、参加した支部からは活動報告が行われました。

各支部ともやはりコロナ禍における問題が中心となりました。特に、外国人留学生の入国が困難になっている現在、日本語学校などの経営問題が今後大きな問題になっていくのではないかと報告されました。今こそ、労働組合の団結が必要となります。

酒井さとえ（書記長）



EWA
オミクロン株に対する鉄壁の外国人入国禁止▼しかし、壁には思わぬ穴が▼沖縄、岩国の米軍基地に検疫なしに入国する軍人・軍属▼首都圏にも大き

な穴が▼東京広尾にある米国軍関係者専用で米国海軍が運営する「ニュー山王ホテル」▼横田基地や横須賀基地から無検疫の米国軍関係者が宿泊▼日本は一体、いつまで米国の植民地なのか？